

教育学部

教育学科 乳幼児発達学科

人材養成等教育研究に係る目的

教育学部では、全人教育の理念のもとに、教育・保育現場で活躍できる質の高い教員・保育者を養成するとともに、現代社会において教育関連分野に貢献できる人材養成を目的とし、教育・保育現場で求められる実践的指導力、社会の変化やニーズに対応できる総合的な課題解決能力、平和で豊かな社会の実現に積極的に寄与できる社会力、そして専攻する分野における幅広く深い専門力を備えた、人間性豊かな教員・保育者や社会人を育成することを目指している。そのために必要とされる、基礎的・専門的学力とともに、人間や社会への理解や愛情、規範意識（モラル）、教育や職務への使命感・責任感、自ら研鑽に努める意欲、実社会におけるリーダーシップ等の諸能力の獲得を図っている。

教育学科は、子どもを深く理解し、主として学校教育に関する専門的知識や技能並びに教職における実践的な指導力を併せ持った教員養成とともに教育関連分野に貢献できる人材養成を目指す。

乳幼児発達学科は、子どもを深く理解し、幼児教育・保育に関する専門的知識や技能とともに実践的な指導力を併せ持った、保育所、幼稚園、認定こども園、児童福祉施設等において活躍できる保育者養成とともに、社会的なニーズに応えられる子育て支援に関わる人材養成を目指す。

教育学部 ディプロマ・ポリシー

「人材養成等教育研究に係わる目的」に向けて次の学修成果を果たした者に学位を授与します。

- ① 全人教育の理念に基づき、幅広い視野を持ち、教育・保育にかかわる諸問題を多面的かつ生涯発達の視点から教育学的に捉え、学術的に研究できる。(全人教育・教育学的研究力)
- ② 教育・保育に携わる者及び社会人として基礎的な言語操作力、数理分析力を確実に身に付け、教育・保育に関する確かな専門的知識を修得している。(基礎的・専門的学力)
- ③ 教育・保育活動に取り組むための教育的な知見に基づいた実践的な技能・表現を身につけ、教育や保育の場で活かす力を身に付けている。(理論に基づいた実践力)
- ④ 教育・保育に関する専門的な知識に基づき、自ら課題を設定し、研究を重ねることにより、教育・保育における現代的課題について自ら考察し、解決のための方途を立案し、実践に向けて主体的、創造的、協働的に取り組むことができる。(専門力・論理的思考力・課題解決能力)
- ⑤ 教育学の視点から様々な社会的諸問題に主体的に関心を持ち、コミュニケーション能力に基づく社会性・共感性を備え、グローバル社会において多様な人や文化を理解し、共生できる力を身に付け、組織や社会においてリーダーシップを発揮できる。(共生力・社会力)
- ⑥ 教育職や保育職及び教育関連分野におけるヒューマン・サービスの社会的意義と特性を理解し、豊かな人間性と使命感、及び倫理観を持って子どもの成育や福祉に関する分野において貢献できる。(人間力)
- ⑦ 教育・保育に携わる者及び社会人として自らを律し、教育学を基盤として生涯学び続ける意欲を持つことにより、変化の激しい社会に適応できる資質を身に付けている。(自己管理力・生涯学習力)

[教育学科：初等教育]

初等教育専攻が重視する学士力には以下の項目があげられ、これらを身に付けることが卒業時における到達目標となる。

- ① 全人教育の理念に基づき、幅広い視野を持ち、豊かな人間性を備え、教育学の特徴を踏まえて教育の根本問題について学術的に研究できる。
- ② 玉川教師訓を踏まえて学習指導力、幼児・児童・生徒指導力、学級経営力、協働力を培い、小学校教師に求められる各教科(全科)・道徳・外国語活動・総合的な学習の時間・特別活動を担当できる。
- ③ 知識基盤社会で活躍するグローバル人材の育成といった時代の要請に応じて、アクティブ・ラーニングの手法と英語及び情報リテラシーを身に付け、小学校教師に求められる英語教育とICTを活用した教育を担当できる。
- ④ 教育学に関する理論と実践に基づいた専門的な知識と技能を総合的に活用し、教育関連分野や地域社会などで貢献することができる。

[教育学科：社会科教育]

社会科教育専攻が重視する学士力には以下の項目があげられ、これらのいずれかを身に付けることが卒業時における到達目標となる。

- ① 中学校社会科の教員免許状を軸に、時代のニーズに応える小中・中高一貫教育に対応できる優れた教員としての資質能力とともに、自らの個性に基づき、教師として学び続けるための基礎的な知識・技能を持つことができる。

- ② 確かな語学力を基盤とするコミュニケーション能力とともに、我が国ならびに他国における多様な文化を尊重し、グローバル化の進む社会において、中心的な役割を果たすことのできる主体性と協調性、チャレンジ精神を持つことができる。
- ③ 社会との関わりにおいて必要とされる広く体系的な知識・技能を持ち、これらをもとに、自己の個性と強みを生かした主体的な生き方を志向し、他者と調和しながら、より良い社会の発展に寄与する能力を持つことができる。

〔教育学科：保健体育〕

保健体育専攻が重視する学士力には以下の項目があげられ、これらを身に付けることが卒業時における到達目標となる。

- ① 教育現場において、保健体育や健康教育に関する専門的指導ができる教員としての資質を持つことができる。
- ② 保健体育の教科における指導とともに、教科外活動の支援能力も備え、学校全体の体力、健康づくりの実践においてリーダーシップを発揮できる。
- ③ 健康とスポーツに関する知識と技能を総合的に活用し、現代の諸問題の解決に主体的に取り組み、産業保健分野や地域社会などで貢献することができる。

〔教育学科（通信教育課程）〕

通信教育課程が重視する学士力には以下の項目があげられ、これらのいずれかを身に付けることが卒業時における到達目標となる。

- ① 全人教育の理念に基づき、幅広い視野を持ち、豊かな人間性を備え、教育学の特徴を踏まえて教育の根本問題について学術的に研究できる。
- ② 玉川教師訓を踏まえて学習指導力、幼児・児童・生徒指導力、学級経営力、協働力を培う。
- ③ 教育学に関する理論と実践に基づいた専門的な知識と技能を総合的に活用し、学校教育、社会教育関連分野で地域社会に貢献することができる。
- ④ 自らの個性に基づき、学校教育、社会教育に関わる者として学び続けるための基礎的な知識・技能を持つことができるとともに、社会との関わりにおいて必要とされる広く体系的な知識・技能も持ち、より良い社会の発展に寄与する能力を持つことができる。

〔乳幼児発達学科〕

乳幼児発達学科が重視する学士力には以下の項目があげられ、これらを身に付けることが卒業時における到達目標となる。

- ① 教育学や児童福祉に関する幅広い知識や技能を持ち、乳幼児から成人に至るまでの人としての育ちについての深い見識を持ち、乳幼児教育・保育について学術的に研究できる。
- ② 幼稚園教諭・保育士の免許・資格を取得するとともに、子ども・子育て支援新制度における保育教諭の役割や社会的な重要性を理解することができ、理論と実践を融合できる保育者としての資質を持つことができる。
- ③ 教育・保育・児童福祉などの分野について精通し、子育て支援や社会的養護の現場において、家庭や家族に対する支援を具体的に実践できる。